生术连特额

木材産業シンボルマーク

1月8日(金曜日)

(第 686 号)

令和3年 (2021年)

発行所

一般社団法人全国木材組合連合会

所在地 東京都千代田区永田町 2-4-3

☎ 03(3580)3215

URL http://www.zenmoku.jp



願

い致します。

ぼ計画どおりに進んでいます。

皆

のご協力に対しまして、

改めて感

所

申し上げます。

緊急対策事業」及び

「輸出原木保管

等緊急支援事業」

を実施していると

ころですが、

これらの事業につきま

0) 進

ては、

多方面からのご要望を受け、

般社団法 人全国木 長 鈴 組 木

合連合会 和 雄

5

新年あけましておめでとうござい 旧年中 は 皆様方には本会の ご協力を賜り

運営に格別のご理解、 ます。 厚くお礼申し上げます

拡大に向けて、 拡大を受け停滞している木材の利用 が準備されています。 じられるとともに、 題となった年でした。 感染症拡大防止への対応が大きな課 さて、 全木連におきましても、 既に2回にわたる補正予算が講 昨年は新型コロナウイルス 「過剰木材在庫利用 更なる補正予算 このような中 政府において 感染症

10

を受けて、 促進のための法律の拡充」 ある都市部での木材利用の推進に関 しましても大きな動きがありまし 、が行われました。 また、 一森林(もり)を活かす都市 団体から提出された の木造化推進議員連盟」におい 今後の大きな課題の 関係業界からのヒアリ 「木材利用 の要望書 一つで

> 組 界、

んで参りたいと考えております

団体等との連携を図りながら

皆様方のなお一

本の森林の再生に向け幅広い関係業

ところです ドファースト社会の実現を目指した 共建築物等木材利用促進法の対象を 民間建築物へも広げること、 いては、 9月3日 民運動の展開等について要望した 全木連会長として、 の 1 回目 のヒアリングに ② ウ ① 公

されました。 法成立に向けた検討が始まることと が行われ、 についての論点整理 その後、 月20日には、 2 回 次期通常国会での議員立 のヒアリングを重 都市木造化推進方策 (取りまとめ)

上げ、

新年のご挨拶といたします

一年となりますことをご祈念申

された建物が当たり前となる時代を きのご支援ご協力のほどよろしくお 今後、 下 存ですので、 実のものとす 展して参りますが、 都市部において木造や木質化 議員立法の具体的な動き 会員の皆様の引き続 べく取り組 議連との連携 んで参る

> 興」は全木連の大きな目的であり、 い中で、 の振興と国産材利用拡大を通じた日 なければならないと考えております。 これに向けて今後とも努力して行か 会の精神であります「木材産業の イルス感染症拡大の影響が見通 こたところです。 全木連におきましては、 令和2年の につきましては、 残念ながら止む無く中 「全国木材産業振興大 しかしながら、 新形 木材産業 コロナウ 止と せなな 大

並びに皆様方にとりまして素晴ら のような姿を私たちの取組に重 働く姿が誠実さを象徴し、 活に欠かせない動物であり、 ろしくお願い申し上げます。 は早くはありませんが着実です。 今年の 本年が森林・林業・木材産業 干支は丑です。 牛は人の その歩み 勤勉に ねな

層のご支援をよ 白鷹町まちづくり複合施設 内閣総理大臣賞受賞

~木材供給と建築設計の連携による 「緑の循環システム」の構築~

令和2年度木材利用優良施設コンクールで、山形県の「白鷹町まちづくり複合 施設」が内閣総理大臣賞を受賞した。町民が利用しやすいように施設が配置されて いること、町産杉の伐採から製材、乾燥、加工、施工まで地域内の連携体制が整備 されていることが評価された。



白鷹町は、県の中南部に位置する面積約158㎞、人口約13千人、稲作や紅花の生産が盛んな町だ。森林率は65%、人工林率は 58%に達し(県内1位)、戦後植林した杉の多くが50年生を超えている。戦後は、電柱材として東京方面に出荷していたが、高度経 済成長の終息とともに材価は下がり、木材は使われずに森林は荒れていたという。そのような中にあって、2013、14年と連続して豪 雨災害が発生したことから、庁舎の建設に当たっては、地元の木材を利用しつつ、跡地には必ず植林・保育するという「緑の循環シ ステム」を目指すこととし、昨年、役場庁舎と公民館・図書館で構成される「白鷹町まちづくり複合施設」が竣工した。

木造軸組2階建て、延べ床面積は4,558㎡、構造材から内装材まで木材をふんだんに使用しており、総使用量は約1,710㎡(う ち構造材1,260㎡)に及びその75%を町産材が占めている。構造材の基本寸法は、柱120×240mm、梁120×360mmで、 大会議室、中会議室(議場)は、アーチ架構を採用し大空間を実現している。

地元の製材品を活かすことを優先し、木材乾燥センター(人工乾燥機、自動4面かんな盤、グレーディングマシーン)を製材事業者、 住宅建設会社6社で設立してJAS認定工場の指定も受け、品質・性能の明確な製品の供給体制を作り上げている。さらに地元産材 を燃料に使用するバイオマスボイラーを導入している。

また、素材生産は森林組合・林業事業体が連携して担うとともに、造林後の5 年間の保育作業は県の助成制度を活用して町と森林 組合が対応することになっている。

このように、伐採、造林・保育、製材、乾燥、加工、施工を一体的(プレカット加工は県外業者に依頼)に実施しており、地元資源の 有効利用が地域経済の活性化に大きく寄与している。

SDGs が注目されている昨今、白鷹町のように地域の木材資源を活用して持続可能な発展につなげていける地域も多いものと期 待している。



日本の森林を守る運動に 取り組んでいます。 http://www.kokusanzaikatuyo.jp/

第五 日時:令和3年 場所:大 会 材利用促 十五 進のため、 ホテル札幌ガーデンパレ 全 かでる2・7 10 月 14 日 玉 材 (札幌市 大勢の参加で大会を盛り上げよう! 産 振 北海道立道民活動センター 興

大会

が成熟期を迎え、

木材としての

業化、 とが、

地方創生といった命 真の意味での林業の成

題の

長

産

さて、

戦後造成された人工林

化防 活用

止や国土強靭化 が本格化し、

また、

地球温 方創生

決に繋がっていくものと考える

などの ケガ・

備えに 病気入院

後援

主催

第です。

改めて感じております

たちにできることを少しずつ着実

要性を再認識するとともに、私 自然の猛威と温暖化防止対策

推し進めていくことの重要性を

な木材製品の安定供給体制の

確 確

企業経営に安心を提供します

層高めるとともに、

品質

0

か

従業員のために中型グループ

経営者のために総合保障プラン

第 12

、のニーズに着実に応えていくこ

界と消費者をつなぐ設計士や

建

り

技術者の木材利用への関心をよ

が、

近づきつつあるように感じ

おります。

このような中

で、

々木材産

なる時代が、

徐々にではあります

建てられるなど、

全国木材協同 長 組 合連合会 される中、 松 おける森 原

正

和

私ども全木協連としましては

5 V 方で、

新形コロナウイルス感染症 新年おめでとうございます。

> け は、

応が毎日のニュースとなる中 しい新年の年頭に当たり一言ご 犠牲となられました方々のご 昨年も豪雨等による甚大な災 皆様方には本会 へ の

また、

す。 害が全国各地で発生しておりま 見 の業務運営に変わらぬご支援とご協 挨拶申し上げます。 で、 力を賜り厚くお礼申し上げます。 舞いを申し上げる次第です。 福をお祈り申し上げますととも 被災された皆様に心からの . り、

とはご案内のとおりです。 法律改正への動きが進んでいるこ 戸建て住宅需要の減少 木材利用拡大へ向: 林の役割が 大い に注 け 目

業種の方々との連携・協調が重 建築費等のコストの上 になってくると考えております。 林野庁や国土交通省におかれ 経営環境も継続していることか 今まで以上に会員相互 **| 昇等、** 蕳 厳 他 願 で、 に、 れ

製材品で7階建ての純木造ビル 木造・木質化が当たり前のことと 充等に取り組んでいただいて 国産材を活用した予算措置の 都市部での木材利用、 仙台において一 中高層建築物 一般的 とり が お 拡 わ 7 たします。 おかげさまで40年 中型グループ

祈り申し上げ、 るい一年となりますよう心から 産業界並びに皆様方にとって、 結びになりますが、 い申し上げます 本年

考えてます と工夫を重ねていくことが重要と 拡 木材業界として今まで以上の努力 大の機運を逃さないためにも、 着実に高まりつつある木材利

共済事業を推進しております。 リースに対する支援、 で参りたいと考えております らを通じ供給体制の整備 材利用促進のための利子助 全木連とも力を合わせ取組 引き続きのご支援ご協力をお 新年のご挨拶とい 共同事 が木 など 成成や 明

全木連グループの各種保障制度 総合賠償補償制度 第3者への事故対策に 任意労災保障制度 労働災害への対策に 木 退 # 全国木材協同組合連合会 〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-4-3 TEL 03-3580-3215 (代)

お役に立ちます!林業・木材産業信用保証

(独)農林漁業信用基金は、林業・木材産業事業者の方々が、融資機関から資金を借入する 場合、債務を保証することにより、円滑かつ有利に借入ができるよう、支援する公的機関です。

融資枠を広げるためのお伝いをします

補助金の自己負担分等を、取引先の融資機関から借入 する際に、当基金が保証人となることで、円滑な資金 調達を支援いたします。

様々な資金用途を保証します

運転資金(原材料調達費や人件費等)や設 備資金(機材購入費等)が対象となります。



事業計画が都道府県知事の認定を受け ると、無利子の融資を受けることができ ます。

無利子の制度資金があります

新型コロナや災害も支援します

つなぎ資金や復旧資金の保証料を免 除する制度があります。

お取引先の銀行、信用金庫、信用組合などの金融機関、当基金の窓口等へお気軽にご相談ください。



農林漁業信

〒101-8506 東京都千代田区内神田1丁目1番12号 TEL:03(3294)5585,5586 FAX:03(3294)5595 URL:https://www.jaffic.go.jp/index.html



※移転のため、令和3年1月12日(火)より住所・電話番号が下記のとおり変更になりますので、ご注意

場日新所時たい

一時間程度

林野庁、 (二 社) 令和3年2月8日(月)午後 -6「木材利用」事例発表会 木材会館 7階ホー 材利用推進中央協議会 社)全国木材組合連合会(東区新木場ー―18ー8)材会館 7階ホール

国土交通省、(公財)日本住宅・木材技術 財 日本木材総合情報センター

令和2年 重大ニュース



江藤拓農林水産大臣表敬 (新年挨拶)



森林を活かす都市の木造化推進議員連盟との意見交換会



第47回JAS製材品普及推進展示会表彰式 (受賞者の皆さん)



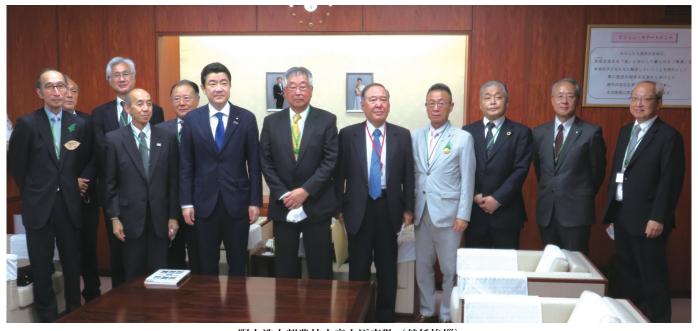
議員連盟令和2年度第1回総会 (木材利用促進のための法律の拡充に関する要望)



新型コロナウイルス感染症拡大に関する業界要望 (要望を述べる島田副会長:自民党本部)

i H

三月



野上浩太郎農林水産大臣表敬 (就任挨拶)



議員連盟「高惣木工ビル視察」 (仙台駅前純木造 7 階建てビル)



議員連盟令和2年度第2回総会 (法律改正の要望を述べる鈴木会長:自民党本部)



全木連・全木協連等臨時総会・理事会の開催 (挨拶する鈴木会長)



木材利用優良施設コンクール表彰式 (内閣総理大臣賞:山形県白鷹町)



日本の森林を守るため共に行動する 企業認定証授与式



木材利用推進全国会議総会でのパネル討論に参加 (意見を述べる島田副会長)

令和2年11月分集計表) 内は実数

(流涌部門)

当月の状況

(製造部門) モニター数124 回答88 回収率71%

弱含み 0% (0)

当月の状況

モニター数128 回答数92 回収率72%

販 売 量	増加32% (28)	変わらず52% (46)	減少16%(14)
仕入量	増加27% (24)	変わらず 5 6 % (49)	減少17%(15)
販売価格	上昇 9% (8)	変わらず90% (79)	下降 1%(1)
仕入価格	上昇15%(13)	変わらず84% (74)	下降 1%(1)

仕 入 量	増加27%(24)	変わらず 5 6 % (4 9)	減少17%(15)
販売価格	上昇 9% (8)	変わらず90%(79)	下降 1%(1)
仕入価格	上昇15% (13)	変わらず84%(74)	下降 1%(1)

来月の見通し			
販 売 量	増加16%(14)	変わらず59% (52)	減少25%(22)
仕 入 量	増加15%(13)	変わらず63% (55)	減少23%(20)
販売価格	強会み 9% (8)	保ち合い91%(80)	弱会み 0% (0)

保ち合い89% (78)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	25% (16)	67% (43)	8% (5)
南洋材	18% (10)	77% (43)	5% (3)
北洋材(欧州材を含む)	24% (14)	69% (41)	7 % (4)
国産材	19% (15)	73% (58)	9% (7)
建 材	15% (9)	81% (50)	5% (3)

プレカットの動向

什入価格

発注後、加工までの	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
待ち時間	29% (16)	66% (37)	5% (3)

販 売 量	増加32% (29)	変わらず54% (50)	減少14%(13	3)
仕入量	増加35% (32)	変わらず53% (49)	減少12%(1]	1)
販売価格	上昇10%(9)	変わらず85%(78)	下降 5%(5	5)
仕入価格	上昇28% (26)	変わらず70% (64)	下降 2%(2	2)

来月の見通し

販売量	増加20%(18)	変わらず59%(54)	減少22%(20)
仕入量	増加18%(17)	変わらず63%(58)	減少18%(17)
販売価格	強含み11%(10)	保ち合い85% (78)	弱含み 4% (4)
仕入価格	強含み15%(14)	保ち合い82%(75)	弱含み 3% (3)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	45% (15)	3 9 % (1 3)	15% (5)
南洋材	16% (4)	76% (19)	8% (2)
北洋材 (欧州材を含む)	46% (13)	43% (12)	11% (3)
国産材	20% (17)	62% (53)	18% (15)

プレカットの動向

発注後、加工までの	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
待ち時間	38% (14)	43% (16)	19% (7)

経済同友会

強含み11%(10)

「木材利用推進全国会議」

パネル討論で意見を発表

令和2年11月20日(金)、経済同友会「木材利用推進全国会議」総会 が港区日本工業倶楽部で開催(Web配信)され、全木連島田副会長がパ ネル討論に参加した。

本会議は、昨年11月に全国44経済同友会、41都道府県知事、48市町 村長が発起人となり、国産材を利用しやすい環境づくり、木材利用が環 境や社会に与える価値の共有、林業分野の生産性向上と新たな技術普 及などに向けた活動を展開すべく発足したもの。

「都市の木質化・木造建築の推進に向けた課題」をテーマにパネル 討論が行われ、島田副会長から、最近の都市の木造化の動き、使い方 によって燃えない・腐らない等の木材の可能性について紹介するととも に、国民理解に向けた活動が必要との意見を述べた。

(写真は、重大ニュースを参照)

木材利用推進全国会議 2020年度総会 ~プログラム~

2020年11月20日(金) 16:00~18:30 場 所: Web配信(日本工業倶楽部 3階 大ホール)

 $16:00\sim16:10$ **開** 会 開会挨拶: 木材利用推進全国会議 理事 小池 百合子氏(東京都知事) 拶:木材利用推進全国会議 代表 櫻田 謙悟氏((公社)経済同友会 代表幹事)

16:10~16:25 事

●これまでの活動経緯・内容の報告と当面の運営方針について 明: 木材利用推進全国会議 運営協議委員 橋本 圭一郎氏((公社)経済同友会 副代表幹事·専務理事)

16:25~17:10 基調講演

●木材の需要拡大に向けた政策展開、改革の方向性について

題:「都市に『第2の森林』をつくる。 賓: 林野庁 次長 浅川 京子氏

パネル討論 17:15~18:25

●需要側を起点として、都市部の施設での木材利用・中大規模木造建築の

普及に向けた現状と課題を議論する。 ーマ:「都市の木質化・木造建築の推進に向けた課題」

パネリスト: (公社)経済同友会 副代表幹事/住友林業 取締役会長 市川 晃氏 木材利用推進全国会議 理事/仙台経済同友会 代表幹事/ アイリスオーヤマ 取締役会長 大山 健太郎氏 木材利用推進全国会議 運営協議委員/全国木材組合連合会副会長·専務理事 島田 泰助氏

モデレーター: 木材利用推准全国会議 幹事 川村 音哉氏(高知県 林業振興・環境部長)

18:25~18:30 閉 会

閉会挨拶: 木材利用推進全国会議 理事 濵田 省司 氏(高知県知事)

森林を活かす都市の 木造化推進協議会の活動(議員連盟総会に出席)

令和2年12月10日(木)、森林を活かす都市の木造化推進議員 連盟(会長:吉野正芳衆議院議員)の令和2年度第6回総会が自民 党本部で開催され、吉野会長、金子恭之法案検討WT座長の挨拶の 後、①「法案骨子(案)の検討状況について」板屋篤志衆議院法制

局第4部長から、②「法案 検討WTにおける議論の経 過について」鈴木憲和法案 検討WT事務局長から、そ れぞれ説明が行われた。続 いて意見交換が行われ、骨 子(案)に対する様々な意 見が出された後、修正等に ついては座長一任というこ とで了承された。



挨拶する吉野会長

日本の森林を守るため共に行動する 企業認定証授与式

令和2年12月3日(木)、「日本の森林を守るため共に行動する企業認定 証授与式」が千代田区永田町ビルで開催された。

戦後造成された日本の森林の多くが活用期を迎えているが、木材利用の形 態の変化や外材との競争等により国産材の価格は低迷し、「伐って・使って・ 植えて・育てる」循環利用のサイクルの維持が難しい状況となっている。こ うした状況を打開していくためには、使えるところには積極的に「国産の木 材」を使っていくという考えに賛同する「共に行動する企業」等理解者の輪 を広げていく必要がある。

この運動は、手の届く、身の回りから国産材の利用を拡大し、日本の森林 の再生につなげていこうというもので、『国産材を活用し日本の森林を守る 運動推進協議会』を平成 29 年 10 月に立ち上げ、これまで 18 社を宣言企業 として認定したが、今回52の工務店が加わることになった。52社の工務店 による宣言は、消費者に最も近い立場から、より直接的なニーズや情報が取 得できる点において山側の関係者が主体の協議会活動にとって一段のステッ プアップに繋がるものと大いに期待している。

(写真は、重大ニュースを参照)

※お詫び:前号の1ページ「受賞をお喜び申し上げます」に誤りがありました。 誤) 牧野純一郎 → 正) 牧野淳一郎 お詫びして訂正いたします。